

# 新フローティングライセンスの簡単インストール手順

TNTmips の新フローティングライセンスシステムは、Windows と Mac の混在環境において同一の HASP Net キー( dongle )を使って管理されます。

フローティングライセンスを管理するソフトウェアは Win, Mac 両方のプラットフォームにおいて同一のインターフェースです。

ライセンスサーバは、TNTmips をインストールしていないコンピュータでもかまいませんし、HASP Net キーが接続されているコンピュータに TNTmips をインストールしてもかまいません。

## ●フローティングライセンスの設定(サーバマシン)

1. ライセンスサーバにするコンピュータをお選びください。ただし、最新のキードライバーをインストールするまで **HASP Net キーは接続しないでください**。

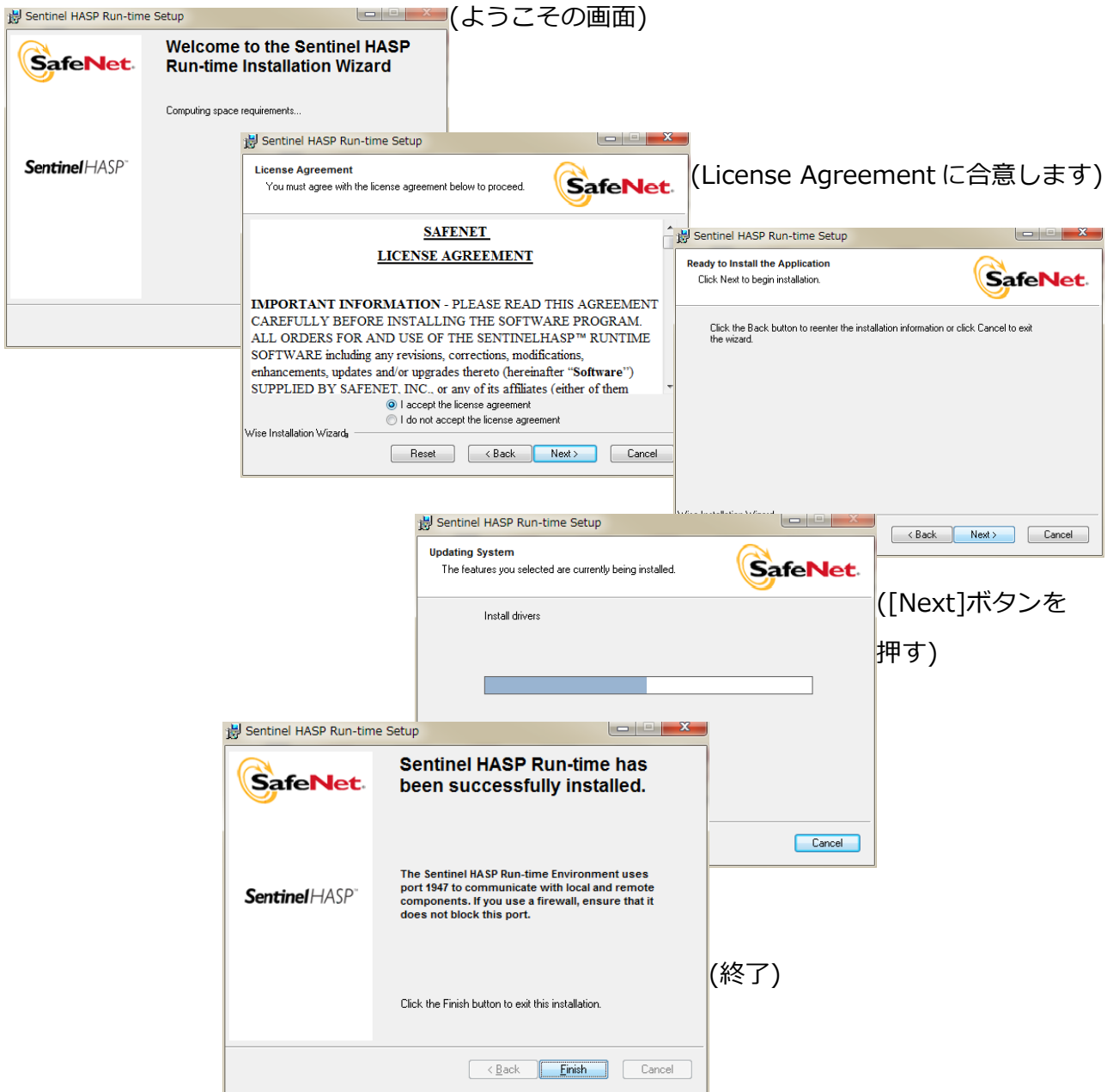
### 2. ドライバーのインストール

TNT 製品の DVD をお持ちであれば、インストーラを起動し、HASP System Driver を選択してください。

ライセンスサーバにするコンピュータで TNT 製品を使わない場合、他の選択肢を選ぶ必要はありません。

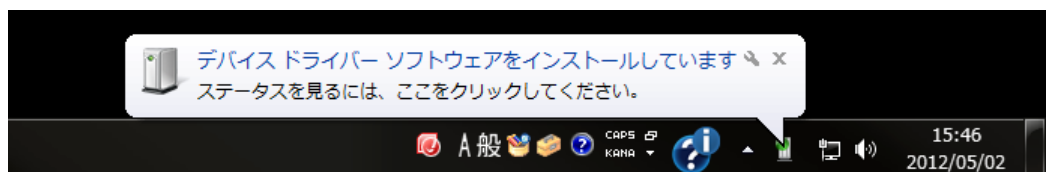
DVD をお持ちでなければ、最新のキードライバーは <http://www.microimages.com/downloads/tntmips.htm> からダウンロードできます。(ブラウザ画面の一番下)

## キードライバー・インストール時の画面

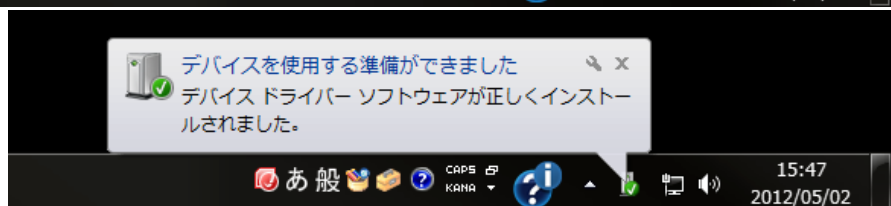


3. ライセンスサーバのマシンに HASP Net キーを接続して下さい。

(接続した時)



(しばらくすると、  
右のように変わります)



キーが赤く点灯するのを確認してください。



キーを初めて接続するときは、キーが2, 3秒間点滅するかもしれません。

### ●TNTmips を使用するコンピュータでの設定(ローカルマシン)

1. TNTmips をインストールします。(『TNTmips Pro インストールガイド』参照)
2. 最新の HASP キードライバーをインストールします。(キードライバーの入手法については、上記の項目2をご覧ください)
3. TNTmips を起動してください。

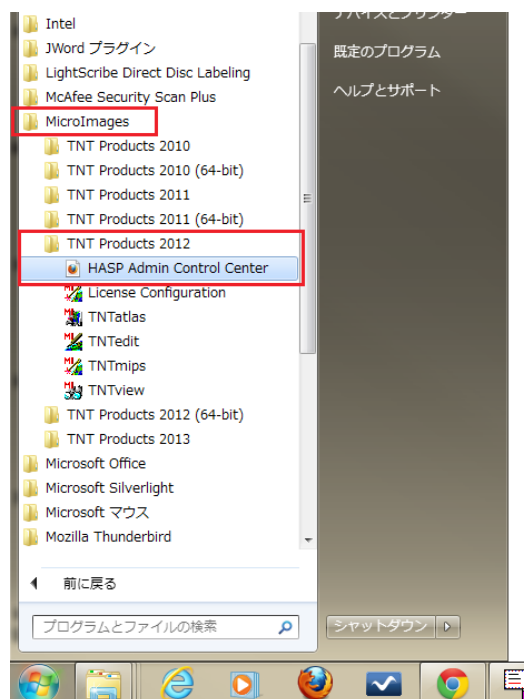
質問のウィンドウが表示された場合は、「HASP キーを使う」を選択してください。

もしライセンスマネージャが動いていないようでしたら、コンピュータを再起動してください。

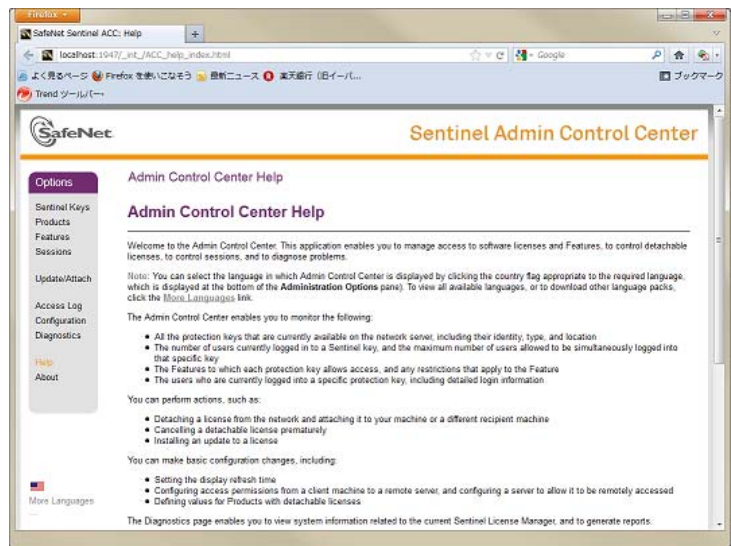
### ●ライセンスの確認(ローカルマシン)

HASP Admin Control Center を使って、  
ライセンスの確認を行います。

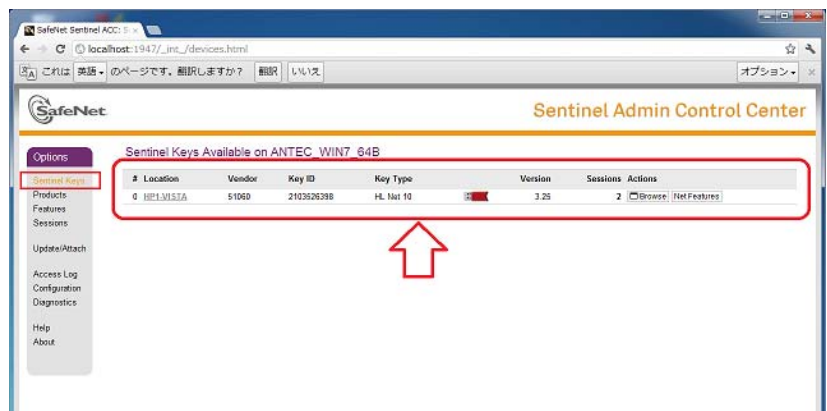
HASP Admin Control Center は、  
Windows7 の場合、[スタート]ボタンから  
[すべてのプログラム]を選び、MicroImages  
フォルダのインストールしたバージョンの  
TNT 製品のフォルダから選べます。



そのパソコンで既定のブラウザが起動し、Admin Control Centerが表示されます。

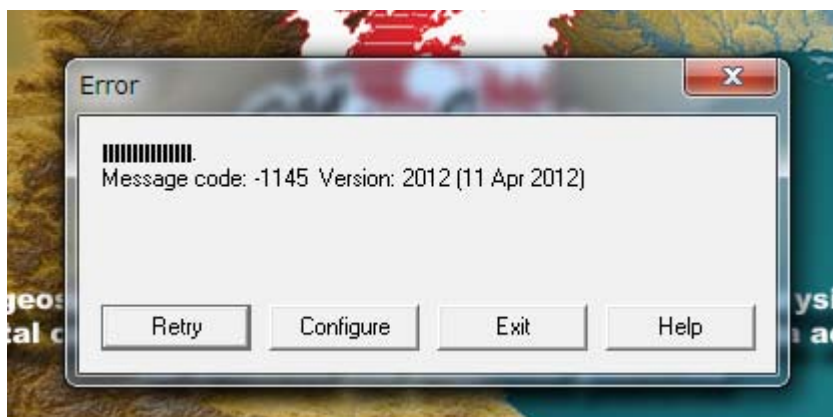


左側の帯にある[Sentinel Keys]を押してください。図のようにライセンスキーが認識されればOKです。ライセンスキーが認識されない場合は、Firefox等の別のブラウザを使って HASP Admin Control Center を起動してみてください。キーの認識が成功することがあります。



.....

フローティングライセンス使用中に、同時に使用するライセンス数が購入した最大数を超えた場合には以下のようなウィンドウが現れます。単なる Error として表示されますので、ご注意ください。



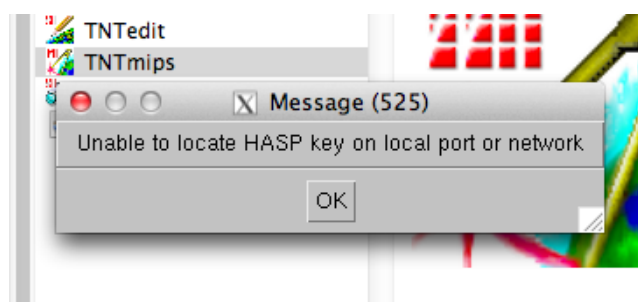
## 【参考】 HASP Net キーでのトラブルシューティング：

1) まずは、最新の HASP ドライバーがローカルのマシンにインストールされているか、確認してください。Admin Control Center が起動出来ていれば、最新のドライバーがインストールされています。最新のキードライバーは

<http://www.microimages.com/downloads/tntmips.htm>

からダウンロードできます。(ブラウザ画面の一番下)

【事例】例えば、ローカルマシンとして Mac(OS10.7.3)でも TNTmips を使いたいと思い、TNTmips をインストールしました。ところが、起動時に、次のようなメッセージが現れました。

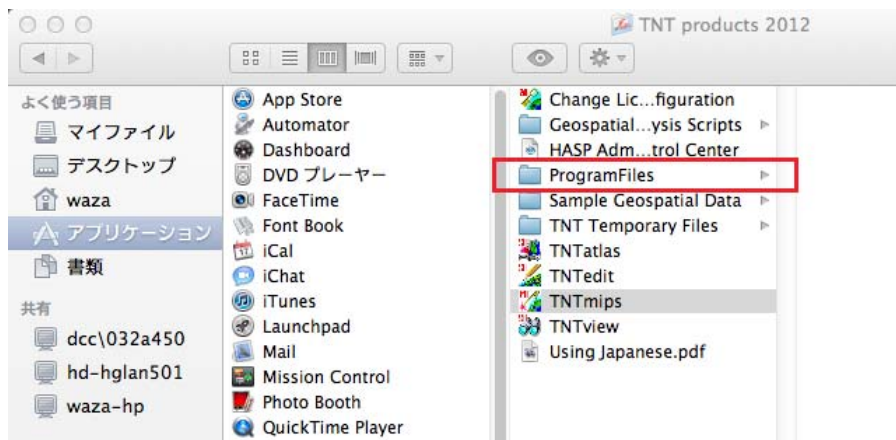


さらに、Admin Control Center を開こうとしたら、ページが開けず、“サーバに接続できない”と言われました。

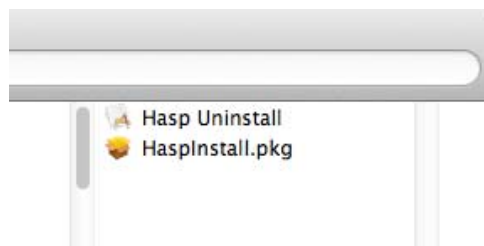


このような場合、新しい日付の TNTmips をネットからダウンロードしインストールしても、すでにそのマシンに古い HASP キードライバがあると(例えば、シングルライセンスとして使用していた)、HASP ドライバは更新されず古いままということがあるようです。この時は、現在の HASP キードライバをアンインストールして、最新のドライバを再度インストールしてみてください。

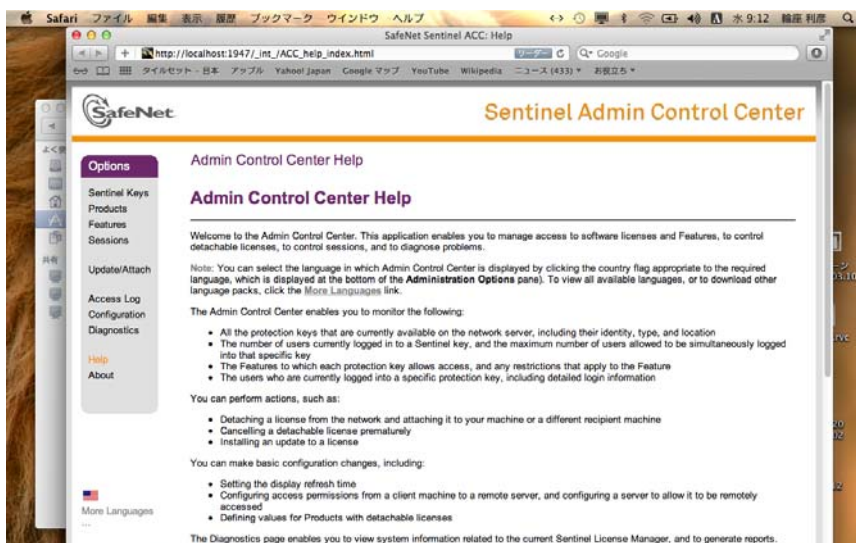
Macの場合、ドライバのアンインストールは以下のように行います。TNTmipsがインストールされたフォルダにおいて ProgramFiles フォルダを探してください。



その中の drivers フォルダに、HASP キードライバの Uninstall ファイルと HASPInstall.kg ファイルがあります。まずは Uninstall ファイルをダブルクリックして、キードライバのアンインストールを行い、その後、最新のドライバを pkg ファイルをダブルクリックしてインストールを行います。



作業後、HASP Admin Control Center を起動すると、次の図のように起動しました。

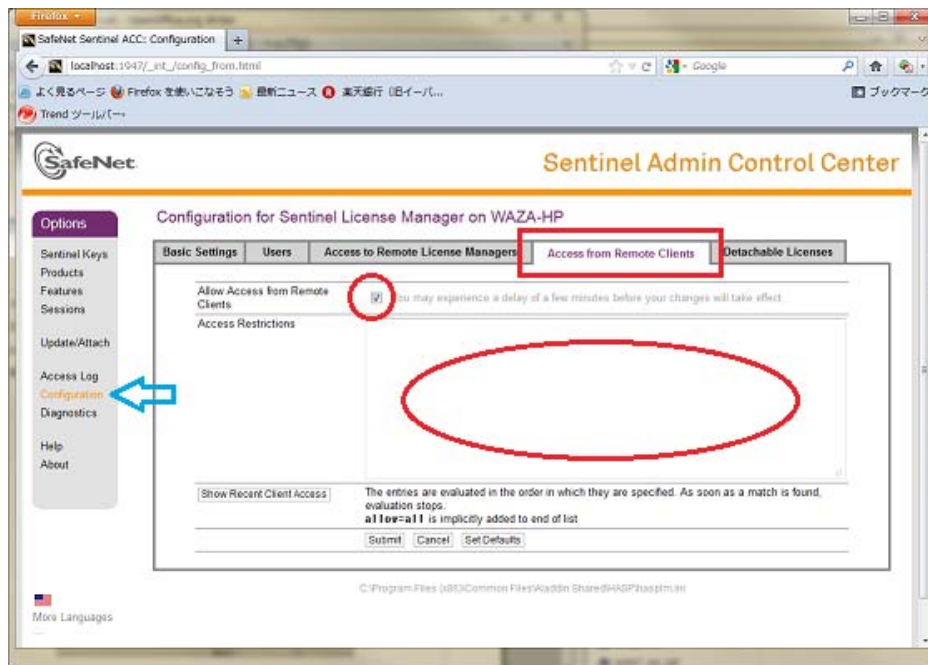




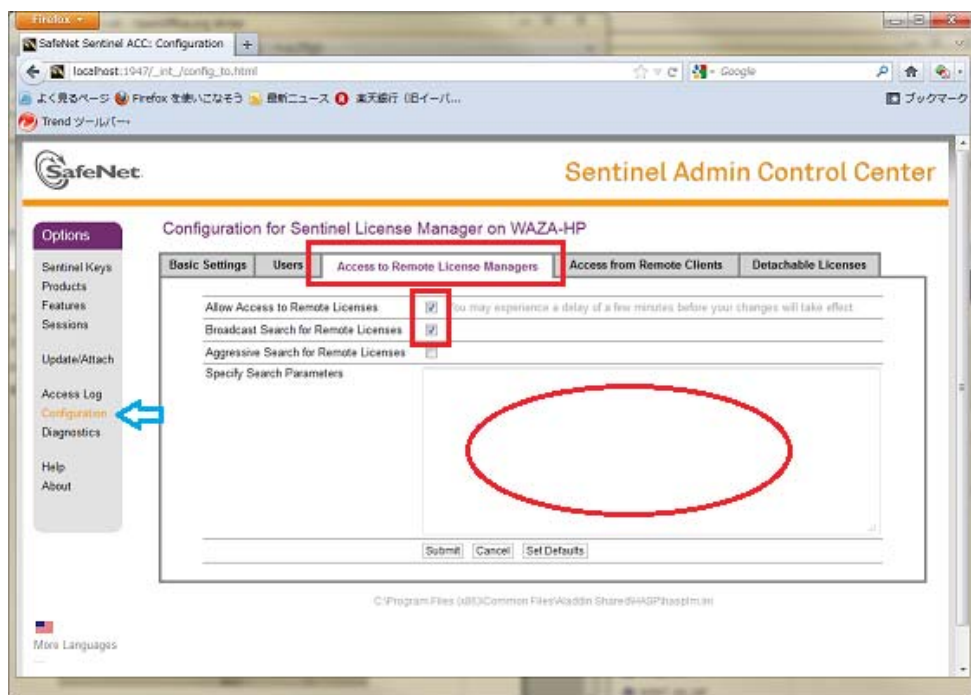
MacでもTNTmipsが使えるようになりました。



2) サーバ側のHASPの設定が正しくない。Windows Remote Desktopを使って、遠隔のPCから、Admin Control Centerの構成(Configuration)画面をチェックしてください。"Access from Remote Clients"タブで、チェックボックスが入っており、制限事項の記載が無いことを確認してください。



3) ローカルHASPの設定ミスの可能性。ローカルマシン上の構成画面をチェックしてください。"Access to Remote License Managers"タブで、"Allow Access to Remote Licenses"と"Broadcast Search for Remote Licenses"にチェックが入っていることを確認してください。"Specify Search Parameters"ボックスにサーバマシンの名前を入れてもかまいません。



4) ローカルマシンが、サーバとの通信をブロックされていないか、チェックしてください。これはユーザ環境での特定ポートに対する設定の問題かもしれませんが、ある種の操作(例えば、Remote Desktop など)のみが許可されているといった一般的なブロッキングの問題かもしれません。通信は 1947 ポートの TCP 及び UDP プロトコールを使って行われています。これらがブロックされていないことを確認してください。

一般的に、HASP Net キーは、いわゆる"サーバー"になければいけない訳ではありません。TNT 製品を使う全部のマシンが同一のネットワークにあれば、キーはその中のマシンのどれにあってもかまいません。もちろんローカルのサーバでもかまいません。

株式会社オープン GIS

2012.5.22 更新